

5月臨時会（5/11）において仙北市議会改選後の議長・副議長選出される



仙北市議会議長 黒沢 龍己（再任）
不偏不党・公正無私の立場を堅持

去る5月11日に開催されました選挙後、初の臨時会におきまして、再び、議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄であり、重責の重さに身が引き締まる思いです。議会運営につきましては、不偏不党・公正無私立場を堅持して参る所存でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、まだまだ油断することはできません。私たちの生活を一変させた、コロナウイルスですが、新しい生活様式として基本的な感染予防対策をしっかりと継続しながら、社会・経済活動を再開するなど、ウィズ・コロナでこの難局を共に乗り越えましょう。

国や県、関係機関等へは、さらなる要望活動を強化しながら、限られた予算の中で、市民の皆様からのご要望にお応えするために、誠心誠意努めて参ります。

もとより浅学非才でございますが、市政の推進と議会の円滑な運営のため、懸命の努力を傾注する所存でございます。今後とも、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



仙北市議会副議長 熊谷 一夫（再任）
議員力を磨き議会力向上を

この度、臨時議会において、議員各位の推挙により副議長に就任いたしました。

仙北市の未来のために、議長を支えながら山積する課題解決に、全力で取り組んでまいります。

議員が16名となり、議員一人一人に課せられる責任と期待感は重く、大きくなりました。

地方分権時代を迎え、議会力を向上させていくには、個々の議員力をアップさせていく事が重要不可欠であります。

議員力とは、「政策力・発信力・拡大力・現場力」の四つに集約されます。市民が何を求め、何を望んでいるかを的確にとらえ、広報・SNS等で発信し、地域住民や町内会等多くの人々と交流して絆を深め、徹して現場に入り、現場の声を聞き、問題を解決していく。

議員力を磨き、議員間討議を重ねながら、市民に開かれた議会力向上と市民の幸福のために努力してまいります。今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



— 第4回（6月）定例会 —

一般会計補正額 4億2,228万5千円を可決 累計208億5,665万3千円に

5月の市議会改選後、初めての定例会が6月2日から6月24日までの23日間の会期で開催されました。新型コロナ経済対策費などを盛り込んだ令和4年度一般会計補正予算、生保内に居住する新副市長の住宅手当給付に関する条例案など、報告関係4件、条例関係1件、予算関係5件、その他1件、人事関係4件、議員提出意見書1件の計16件が審議されました。議会初日には、倉橋副市長の任期満了での退任に伴う、副市長の無記名投票が行われ、秋田市の赤上陽一氏を副市長に選任しました。また、令和4年度の一般会計補正予算は、4回目の新型コロナワクチン接種費用や市内の経済支援として、プレミアム商品券及びプレミアム土産券の発行経費、原油価格高騰の経済対策費及び第三セクター経営統合に係る経営コンサルへの業務委託費などが可決されております。最終日には、議員提出議案として、水田活用の直接支払交付金の見直しについて、国に白紙化を求める意見書を採択しました。

第4回定例会
可決・同意・
採択された議案

- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算（第2号）
- ◇財物事故（落雪等による建物破損事故）に係る和解及び損害賠償について
- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算（第3号）
- ◇令和4年度仙北市介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- ◇令和4年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算（第1号）
- ◇仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算（第4号）
- 意見書「水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直し方針について白紙化を求める意見書」
- 仙北市副市長の選任につき同意を求めることについて
- 仙北市固定資産評価員選任につき同意を求めることについて
- 仙北市田沢財産区管理委員選任につき同意を求めることについて（2人）